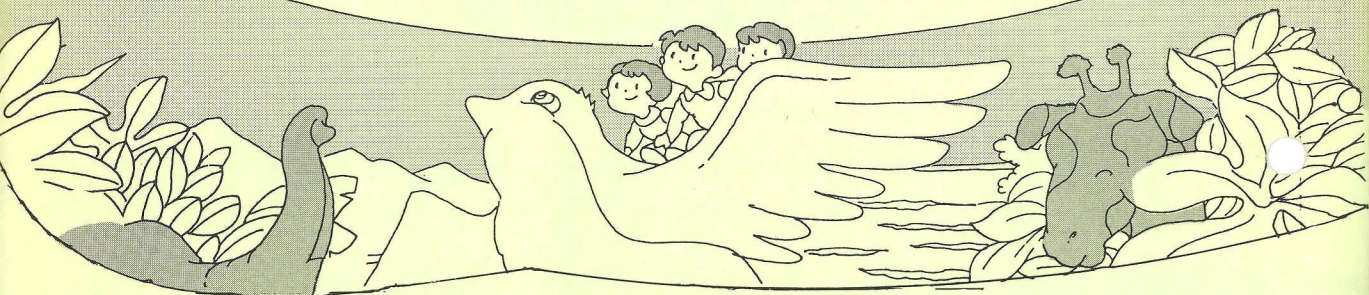


月刊

リサイクルデザイン

地球が与えてくれた贈り物を大切に
リサイクル社会の実現をめざしたい



年頭所感

一九九六年一月元旦

理事長

中野 聰 恭

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

一九九六年の新春を皆様方には、ご家族共々お元氣にお迎えのこととお喜び申し上げます。

毎月ご愛読頂いておりますリサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」も5000部を発行させて頂けるまでに育ちました。横浜市民の方々が始めとするご愛読者のご支援のたま物と厚く御礼申し上げます。

久しく情報化社会の到来が叫ばれて、近代市民の方々は生活を取り巻く情報量の多さに圧倒され、真の



情報、必要な情報の整理に埋没しそうな状況の中で特にリサイクル情報は不透明さが目立ちます。地球に優しいリサイクルと言いながら、大量生産、大量消費型経済を継続させるためのリサイクルであつたり、単にニューモデルを売らんがためのリサイクルであつたりします。そんな情報過多の中、市民の方々が循環型の社会を目指すに当ってライフスタイルの変更を志向するにも、静脈産業であるリサイクル業界からの情報提供が余りにも少なく、皆無に近いと言える現状ではリ

サイクル情報は動脈産業からの偏った情報の一方通行となっています。当協同組合実施のアンケートからも、一部の市民の方々が再資源化情報を必死で集めている姿や、リサイクル業界は困った時、具合の悪い時だけ助けてくれと勝手な物言いをする自らの姿が浮き彫りにされました。そんな反省から「月刊リサイクルデザイン」はリサイクル業界の視点から、消費者・行政・生産者が一体となった循環型社会を目指すリサイクル生活情報誌として、協同組合と言う中間法人としての立場を生かしたバブリック誌として発刊しました。まだまだ至らぬところの多いことは存じますが、本年も変わらずご愛読頂き、多くのご意見、貴重な情報をいただけます様よろしくお願い申し上げます。

11月5日かながわ労働プラザで、組合員・市民・行政が参加して、フォーラムを開催しました。現在市内の集団回収で集まる古紙は年間8万トン(一人あたり26kg)。これをどうしたら10万トンまで引き上げることができるかということで、参加者で議論されました。

まずパネリストの一人、『若葉台環境ゴミ問題を考える会』代表の鬼塚京子さんは「業者によつて回収の仕方がまちまちで、何を出していいかわからない。回収の方法も細かく市民に伝わっていない」と情報不足を指摘しました。

また『横浜』を考える連絡会』代表の若宮静江さんは「古紙回収での奨励金の一部で、木を植えたりしてはどうか。それと再生紙を多くの人に使ってもらい、原生林を切らないようにする。再生紙を使うよう皆に意識させる」

リサイクルデザインフォーラム

古紙回収10万トン大作戦!

と話されました。

行政からは市環境事業局減量化推進室室長の細谷五十二氏は、「市民の皆さんに協力していただければ回収アップにつながるので、近所や単身赴任者にも知らせてほしい。市内100%で集団回収を行ってもらえるようPRしてほしい」と話されました。

もう一人、環境

事業局南事務所副所長の増田一行氏は、南区を例に上げ、「南区は平成元年は1800トンだったのが、奨励金などによつて平成6年には5800トンにまで増え

ました。団体数も143団体から203団体までになりました。しかし、回収している業者は39業者。業者同士が協調し、大きく回収した方がもっと回収量が増えるのではないかと話されました。業者側からの意見として、当組合古紙委員長の小塚敏文

氏は「業者同士の協調については、それぞれ競争があるので、なかなかうまくいかないのが事実」とし、このフォーラムの前に行ったアンケート結果などを参考にしながら「個人的にはステーション方式がいいと思う」と述べられました。

当組合理事長中野聰恭氏は、「モノがない時代に作られた集団回収という制度は、経済活動の役割を果たしていた。これからは環境活動としての集団回収の役割とか、いろいろなシステムを作れるかどうか今は過渡期的なところにあると思う。こういったフォーラムなどを開催して、いい社会システムがで

きるかを市民の皆さんとこれから話しあっていきたい」ということでした。



当組合主催の「リサイクルデザインフォーラム」は11月5日に盛況をもち終了致しました。フォーラム開催前に「アンケート」とをらせていただきましたが、その集計結果は次号にて報告させていただきます。

お知らせ

月刊リサイクルデザインは、次の所に置かせていただいています。

西区役所・フォーラム横浜情報ライブラリー・南区役所・南センター・緑区役所・長津田地区センター・港南区役所・港南区青少年図書館・港南地区センター・港南台地区センター・旭区役所・白根地区センター・希望ヶ丘地区センター・旭図書館・瀬谷区役所・瀬谷地区センター・瀬谷図書館・鶴見区役所・末吉地区センター・寺尾地区センター・鶴見会館・栄区役所・豊田地区センター・栄図書館・本郷地区センター・保土ヶ谷区役所・西谷地区センター・初音が丘地区センター・ほどがや地区センター・都筑区役所・立場地区センター・泉図書館・泉区青少年図書館・中川地区センター・青葉区役所・山内地区センター・藤が丘地区センター・青葉区青少年図書館・若草台地区センター・新田地区センター・中川西地区センター・日吉地区センター・上中里地区センター・磯子センター・杉田地区センター・根岸地区センター・神奈川区役所・戸塚区役所・横浜女性フォーラム・戸塚センター・大正地区センター・東戸塚地区センター・金沢地区センター・本牧地区センター・大岡地区センター

〒220

横浜市西区平沼1-33-1

東洋建物横浜ビル5F

横浜市資源リサイクル事業協同組合

『月刊 リサイクルデザイン』編集部

行

お手数ですが
80円切手をお
貼りください。

●必ずご記入下さい。

お名前	年齢
住所(〒 -)	
TEL ()	

月刊
リサイクルデザイン
読者アンケート用
封書

アンケート

①リサイクル情報・環境問題・この話は本当なの？などあなたの知りたいことをいくつかもお書きください。

②あなたの知っているとおきの情報がありましたら教えてください。

③リサイクルデザインの感想

④今後リサイクルデザインで取り上げてほしいこと、その他、ご意見・ご希望がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

↑ここで折り曲げて下さい。

—キリトリセン—

アンケートにご協力ください。

【リサイクルデザイン】を読んでいる皆さんの声を聞かせてください。

これからの誌面作りに参考とさせていただきます。

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で200名様に「リサイクルデザインテレフォンカード」を差し上げます。

アンケートの締め切りは2月23日(金)です。お待ちしております。



1年間連載してきましたこのコーナーは前号でめでたく最終回を迎え、ササキさんも「ほつ」と一息ついていきます。

読者の皆さんはササキさんでどんなひとだろう？なんて考えたこともあるかと思いますが。そこで今月は番外編としてササキさんでこんな人なんですということを教えます。

まずササキさんは横浜リサイクルラー会議・横浜ゴミを考える連絡会・愛知ゴミ仲間ネットワーク会議などに所属しています、それ



その会で活発に活動されています。環境に目を向けるようになったのは、20年くらい前に新聞連載で『複合汚染』を読んだ、強い関心をもったからです。

いまでは農業を使っていない野菜などはすぐに手に入りますが、当時はそんな状況ではなく、徐々に野菜の共同購入をしたり、洗剤などもかえるようにしたそうです。

ゴミに関しては同じく20年くらい前、尼崎市に住んでいたとき、ゴミの日にあわててゴミが

入ってる紙袋を出したと思ったら、間違えて印鑑や保険証などが入ってる方をだしてしまいました。あわてて戻ったけど後の祭で清掃局に電話したら、探しに来てくださいと言われて行ってみたらびくつき。

広い埋立地にこれでもかというくらいゴミの山。悪戦苦闘しているうちに、探していた大事な物は見付かりました。そこで自分の出したゴミの行き着く先を見つめてから、ゴミに関心を持つようになったそうです。新聞や雑誌などは集団回収に出したりしてリサイクルできるけど、ゴミはどうしたらいいかということ

を考えると捨てるに困りました。石けん運動をしたり、ゴミ問題をやっていけると捨てないあばさんなんて言われたりしたことも…。

生ゴミなどは、自分の家でコンポストをやったり、畑を借りたりして、10年ほどゴミに捨ててないそうです。

というササキさんですが最後にどうして「エコサイクル12か月」というタイトルにしたかを聞いてみたところ、去年の夏スウェーデンに行くと、国の法案「エコサイクルビル」について聞き、つながる命、循環を端的に示すいい言葉だと、ササキさんはとても気に入っているのだとか。この言葉を皆さんに知ってもらいたくて、タイトルをこうしたそうです。

再生紙を使ってみませんか！

私たちの資源回収で生まれた 新聞古紙 90% を含んだ再生紙です。

真から地球環境保護にこだわり、白色度を抑さえ、水質・大気汚染をなくすよう配慮しました。再生紙を使うメリットは、省エネルギー・ゴミの減量化・森林保護に役立ち、しかも経済的です。私たちの願いは1つ、地球の未来を考え、住みやすい環境をつくることです。

商品内容

商 品	サイズ	入数	規 格	5～9ケース	10ケース以上
新聞古紙90% コピー用紙	A4	2500	白色度 70% 白	1,780	1,710
			カラー:ピンク、イエロー、グリーン、サーモン	3,120	3,000
	B4	2500	白色度 70% 白	2,680	2,580
			カラー:(A4) +パープル、ブルー	4,680	4,500
	B5	5000	白色度 70% 白	2,680	2,580
β-ON/ハイパーフォーム15 11 コンピュータ用紙	A3	1500	白色度 70% 白	2,130	2,050
		2000	白色度 60% 白 (新聞古紙83%)	2,450	2,350

商 品	サイズ	入数	規格	1～10ケース	11ケース以上
上質古紙100% リサイクルボーイ トイレットペーパー	シングル (芯なし)	(1ケース8パック) (1パック6ロール) 48コ	130m	3,360	3,000

●パッケージのうらにはオフィス古紙回収参加企業の名前が入っています。
 オフィス古紙共同回収参加企業[横浜駅西口資源化協議会]朝日生命横浜西口ビル・NTT横浜ネットワークセンター・国際興産(株)・相模鉄道(株)・松栄不動産(株)・(株)水信ビル・東武ビル管理(株)・(株)三越横浜店・安田生命横浜西口ビル・(株)安田ビル・リバーズチールビル[新横浜町内会古紙共同回収プロジェクト]参天製薬(株)・(株)図研・(株)竹中工務店・(株)日能研・(株)ピーエス・三友興産(株)・明生不動産管理(株)・(株)宗久・ユーコープ事業連合・(株)横浜アリーナ (五十音順)

*上記価格は、1回の注文につき1ケースあたりの価格です。

★消費税別途 ★両方とも送料込み

*5ケース未満は別途御相談ください。

●配送は、受注後2～3日以内配送致します。(土、日除く)

平成7年12月現在



【注文先】

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL.(045)316-4050 FAX.(045)316-6050

オフィス古紙 回収事業

11月回収実績
(参加企業 15社)
12,770kg
でした。

アルミ缶店頭 回収実績

(横浜市内スーパー106店舗)

11月回収実績
47,320kg
(2,970,000缶)
でした。

“リサイクルデザインclub” 会員募集のお知らせ

【月刊リサイクルデザイン】は、市内区役所・地区センターで無料配布していますが、第17号('96年1月発行)から年間購読会員を募集します。定期購読を希望の方は年間郵送料として、1,000円を下記の方法でお送りください。

郵便局にある振替用紙に口座番号(00210-3-64725)、加入者・横浜市資源リサイクル事業協同組合、通信欄に何号からか記入してください。

- ◆毎月20～23日頃、郵送で1年間お届けします。
- ◆イベント情報・その他お知らせなどを別に提供します。
- ◆原則的に1人1部です。
団体(多部数)希望の方は別途御相談下さい。

編集後記

古紙回収業をやっていると、正月だけが唯一「ほっと」一息いれられます。一年中せっせと働いて暮れもめいっぱい働いた後は、家庭や企業に古紙がたまると中旬頃まではなんとなくのんびり気分。だけど門松も取れ鏡開きも終わつたし、そろそろ仕事をしましうか。(M) これからもよりよい内容

にするために、皆様からのご意見・情報・投稿等をお待ちしています。
またリサイクル・環境などに関するイベント等の記事も募集しています。(受付締切りは掲載希望の1ヶ月前) 〒220 横浜市内西区平沼一三三ー一 東洋建物横浜ビル5F 横浜市資源リサイクル事業協同組合 月刊リサイクルデザイン 編集部 まで

リサイクルに伴う標準価格表

(平成7年12月現在)
(取引条件により多少の変化はあります。)

品名	買入金額	業者の売値
新聞	1kg 0～1円	1kg 7～8円
雑誌	1kg 0円	1kg 2～3円
段ボール	1kg 0円	1kg 8円
衣類くず	1kg 0～1円	1kg 5円
アルミ缶	1kg 5～15円	*アルミ缶のみを選別した場合

★この価格は、500kg以上集まる団体に適用されます。(個別回収は適用外)

★業者の売値は、12月28日「日経新聞」より。

集団回収以外の段ボールの標準回収手数料

★集団回収以外で段ボールの回収を依頼されますと1回3000円以上の手料を頂いてます。
但し、段ボールは、束ねて出してください。

組合新規加入者紹介

事業所名 代表者名 住 所

▼主に空きビン等を扱っています。

遠藤商店	遠藤久恵	横浜市内西区浅間町5-381-17 電話331-7607
寺西容器店	寺西幸一	横浜市内南区大岡3-51-14 電話741-2874
鳥養商会	鳥養義和	横浜市内神奈川区入江2-6-25 電話421-4221
樽松栗原商店	栗原松蔵	横浜市内南区高根町3-17 電話231-8430
(株)置田商店	置田耕治	横浜市内南区浦舟町1-1 電話231-6285
(有)高橋商店	高橋治孝	横浜市内鶴見区市場富士見町6-16 電話501-3679
(株)松見商事	世取山 武	横浜市内泉区上飯田町2400-4 電話803-5997
樽滝合資会社	森 恭一	横浜市内磯子区丸山1-3-3 電話751-6667
(合)井上利久商店	井上敏行	横浜市内神奈川区六角橋2-1-15 電話491-8916
(有)岡島正造商店	岡島義憲	横浜市内瀬谷区阿久和町2471-2 電話363-5569
瀬島容器店	瀬島紀生	横浜市内泉区弥生台3-6 電話303-6984
(有)西川真吾商店	西川光司	横浜市内神奈川区三ツ沢下町8-3 電話323-0652
(有)小菅商店	小菅昌子	横浜市内中区石川町5-186 電話641-4484

▼主に鉄を扱っています。

佐藤誠治商店	佐藤誠治	横浜市内鶴見区菅沢町18-22 電話501-6659
--------	------	-------------------------------